

**大学入学共通テストに導入される英語民間検定試験  
利用予定は約6割 大学は7割、短大は3割**

9月10日(火)、全国の高校の校長でつくる「全国高等学校長協会」は、大学入学共通テストの英語民間検定試験の延期や制度見直しを求め、要望書を文部科学省に提出しました。その9日後、全国の私立中高でつくる「日本私立中学高等学校連合会」は、課題を解決した上で予定通りの実施するように要望書を文部科学省に提出しました。この期に及んでも混沌とした感が拭えません。

文部科学省は10月25日(金)、2020年度に始まる大学入試英語成績提供システム(大学入学共通テストに係るシステム)の利用予定状況の一覧を掲載しました。その一覧から利用予定大学は全体で629校に及び、これは総大学数1068校(4年制大学760校(国立82校、公立91校、私立587校)短大308校)中、約6割(58.8%)にあたる大学・短大が、少なくとも一つ以上の学部・学科で利用予定であることが判明しました。

9月30日時点の集計では、4年制大学は70.9%(うち国立大学95.1%、公立大学85.7%、私立大学65.2%)、短大は29.5%の利用ということになりました。

いまでも大学入学英語成績システムに参加する英語民間検定試験の確定した情報が不十分ななか、各大学・短大が提供される成績をどのように利用するのかという情報も遅れています。

文部科学省は10月25日(金)を目途に「大学入学英語ポータルサイト」に、各大学・短大の学部・学科の利用予定や、具体的な出願や選抜の利用に関する最新版を掲載する予定です。是非とも、閲覧してください。

大学入試英語成績提供システムの利用予定状況の一覧のなかから東京、神奈川の大学・短大について記しました。多くの大学は利用するので、今回利用しない学校名を記しました。参考にしてください。

○東京都、神奈川県内の大学でシステムを利用しない主な学校

\*神奈川県立保健福祉大学 \*神奈川大学 \*慶応義塾大学 \*駒澤大学  
\*専修大学 \*成城大学 \*帝京大学 \*東洋大学 \*法政大学 \*明治大学

(注：上記大学のなかでも、一般選抜や総合選抜で英語民間検定試験を活用予定の学校もあります。)

利用しない大学のなかで神奈川県立保健福祉大学を除けば、伝統があり、一定の志願者を集めている大学です。東洋、法政、明治では志願者は10万人を超え、慶応、駒澤、専修、神奈川でも3万人以上の志願者あります。

逆に、募集人員が多くない単科系大学などで利用する学校が目立ちます。例えば、恵泉女学園大学、白梅学園大学、杉野服飾大学、デジタルハリウッド大学、東洋学園大学、ヤマザキ動物看護大学、ルーテル学院大学、松蔭大学などの学校は、大学入試英語成績提供システムを利用します。

**大学を受験する場合、基本的には多くの大学が利用しますので、大学入学英語成績システムの共通 ID を申込み、必ず共通 ID を取得しましょう。** 現段階では志望大学が未定でも、共通 ID を取得せず次年度になって、受験できる大学が狭まってしまうことも予想されます。広い待ちができるように共通 ID の申し込みをしましょう。

共通 ID を申込み場合、在学者は高校から取りまとめて申し込むこととなります。令和3年度大学入試者選抜スケジュールに向けた共通 ID 発行申込みの集中発行申込みの期日は、11月1日(金)～11月14日(木)の期間です。それに申し込むことのできなかつた者については、追加発行申込みがあります。期日は令和2年1月27日(月)～9月10日(木)の期間です。また、**卒業生が申込みをする場合、現役生と同じ時期に自分で共通 ID 発行申込書を、本人確認証明書(住民票の写し又は在留証明書等)と一緒に大学入試センターに提出しなくてははいけません。**

大学入試センター発行の『共通 ID 発行申込案内』に示されている「年間スケジュール及びモデルケース」には、令和元年11月～令和3年3月までのスケジュールが示されています。資格・検定試験の受験は、令和2年4月～12月までの期間のうち2回までとなっています。資格・検定試験の1回目となる受験期間Aは4月～6月の期間であり、大学に提供されるものを確認する期間が8月7日(金)～13日(木)となっています。そして9月から大学に成績の提供が開始されます。現行のA0入試にあたる総合型選抜は9月から開始されますので、1回目の受験期間に資格・検定試験を受験していれば成績が提供されます。

2回目の受験期間B(7月～9月)の確認する期間は10月7日(水)～10月13日(火)で、11月から大学に成績の提供が開始されます。そのため2回目では総合型選抜入試には間に合わないことを意味しています。

3回目の受験期間C(8月～12月)となっていて、確認する期間は12月22日(火)～12月28日(月)となっていますので、11月から開始される現行の指定校入試にあたる学校推薦型選抜には間に合いません。

以上のスケジュール等から、最初に共通 ID 発行申込みを行い、1回目の受験期間に受験する予定を立てて受験勉強しましょう。今年度4月に実施された全国学力テストにおける中学校3年生の英語の結果は、本県が最上位に位置しました。政令都市でも横浜や川崎が上位に位置しています。皆さんも決して英語ができないわけではありません。まずは、恐れず挑戦しましょう。